

報道関係各位

令和 8 年（2026） 8 月 2 4 日
猪名川町役場企画財政課広報担当

B&G 財団「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業 「協定書調印式」及び「配備機材お披露目式」を実施



【概 要】

本町は、公益財団法人 B&G 財団と令和 8 年 8 月 18 日に「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業に係る協定書の調印式及び配備機材お披露目式を執り行いました。

本事業は、本町における災害発生時の防災力向上に資するだけでなく、本町以外の被災地や被災自治体等への迅速な支援を行うことを目指しており、この度の協定は、被災地への必要に応じた物的・人的支援を実現するために、配備機材を活用した各種研修の実施や、機材の適切な管理等について定めたものです。

「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の内容としては、令和 7 年度より 3 年間で総額 4,400 万円を上限とした、災害発生時の緊急対応や避難所運営に必要となる各種資機材の整備を行うハード事業と、油圧ショベルやスライドダンプなどの機材の操作オペレーターの人材育成等を行うソフト事業の 2 つからなり、ハード事業の資機材配備支援金として総額 3,500 万円の支援を受け、必須資機材である防災倉庫や救助艇を始め、現物支給の油圧ショベルとスライドダンプ、また任意資機材として軽ダンプトラック、IP 無線機、折り畳みトイレ、簡易ベッド、パーテーション、LED 投光器、ポータブル電源などを導入いたしました。

また、ソフト事業の研修支援金として、3年間（令和7～9年度）で総額900万円の支援を受ける予定であり、令和7年度は現物支給を受けた油圧ショベルの操作オペレーターの育成のため小型車両系建設機械（整地等）特別教育を始め、職員を対象とした水防工法・資機材活用研修や関係機関や民間団体も参加する避難所設置・運営研修（総合防災訓練）などを実施しました。

令和8年度は昨年度に続き小型車両系建設機械（解体用）特別教育の受講や、前回の避難所設置・運営研修（総合防災訓練）の続きとなる避難所開設訓練の実施など、引き続き災害対応に係る人材育成に取り組むこととしております。

なお、B&G財団による「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業を受けて設置された防災拠点は全国で40道府県100市町村に設置が決定されており、兵庫県内では南あわじ市、養父市に続き3か所目となります。

【式典概要】

日 時：令和8年8月18日（火）11時～12時

場 所：猪名川町役場 第2庁舎1階会議室 及び 役場駐車場

出席者：公益財団法人B & G財団

理事長 菅原 悟志 様

企画広報課長 藤田 有里 様

防災推進課 山本 真瑞 様

猪名川町

町長 岡本 信司

副町長 森 昌弘

教育長 大橋 昭博

企画総務部長 大嶋 武

消防長 向井 文雄

地域振興部長 角田 泰司

来賓

淡路市長 戸田 敦大 様

淡路市教育長 角村 光浩 様

上郡町副町長 山本 高士 様

宍粟市まちづくり部長 山本 信介 様

【配備機材一覧】

◆必須資機材

- ・油圧ショベル 1台（※現物支給）
- ・スライドダンプ 1台（※現物支給）

- ・ 救助艇 1 台
- ・ 防災倉庫 2 棟

◆任意資機材

- ・ 軽ダンプトラック 1 台
- ・ I P 無線機 40 台
- ・ 折畳トイレ 100 台
- ・ 簡易ベッド 290 台
- ・ パーテーション 100 組
- ・ L E D 投光器 6 台
- ・ ポータブル電源 2 台

【問合せ】

総務防災課 担当：西村（TEL 0 7 2 - 7 6 7 - 1 2 0 7）